

# 松戸駅周辺の将来像について

千葉県松戸市 街づくり部

・ 都心3区と郊外を結ぶ新たな都市モデルの創出	…	1
・ 松戸駅周辺の将来像	…	2
・ 松戸駅周辺の将来都市構造	…	3
・ 松戸駅周辺のみどり・歴史の整備イメージ	…	4
・ 松戸駅周辺の交通・基盤整備イメージ	…	5
・ 松戸駅周辺の都市再生の考え方	…	6
・ 松戸市のポテンシャル		
防災性の向上	…	7
起業支援・企業育成	…	8
サテライトオフィス/シェアオフィス誘致	…	9
クリエイティブシティの推進	…	10
外国人ワーカーの生活サポート	…	11
多様な世代が暮らす住環境整備	…	12
子育てサポートの充実・就労(リカレント)支援	…	14
大学連携による地域課題の解決	…	15
地形と緑の豊かさ	…	16
歴史的資源	…	17
災害時の対応	…	18



# 都心3区と郊外を結ぶ新たな都市モデルの創出

## ●都市再生に取り組む基本的考え方

### 都心3区への一極集中是正

日本全体で人口減少が進むが、**都心3区への転入超過は依然として継続**。首都直下型地震などの**災害リスク軽減が喫緊の課題**。

### 都市への投資を促す質の高い都市再生

未来への発展基盤の準備・構築に向け、国民生活や経済の基盤である都市へ、いかに戦略的に、**質の高い投資を呼び込むかが課題**。

## ●都市再生基本方針

### 質の高い生活のできる大都市

都市は経済活動の場であるとともに人々の生活の場であるため、**国際的に質の高い生活環境の確保が重要**。この際、特に**大都市における企業等の集積のデメリットをできる限り抑制**することが重要。

### 災害に強い大都市

東日本大震災の経験から得られる教訓を踏まえ、大規模災害が発生した場合、**甚大な人的・経済的被害等につながらないようにすること**、また、**都市機能を安定的に継続**できるように配慮することが必要。

## ●現在の社会の潮流

### 働き方改革によるライフスタイルの変化

2000年代以降、都心部のライフスタイルは都心近郊の郊外居住から、都心居住による職住近接へと変化。近年、**働き方改革の推進により**、時間や場所などに制限されず柔軟に働ける環境整備が進みつつあり、今後の**ライフスタイルは大きな変化が予想される**。

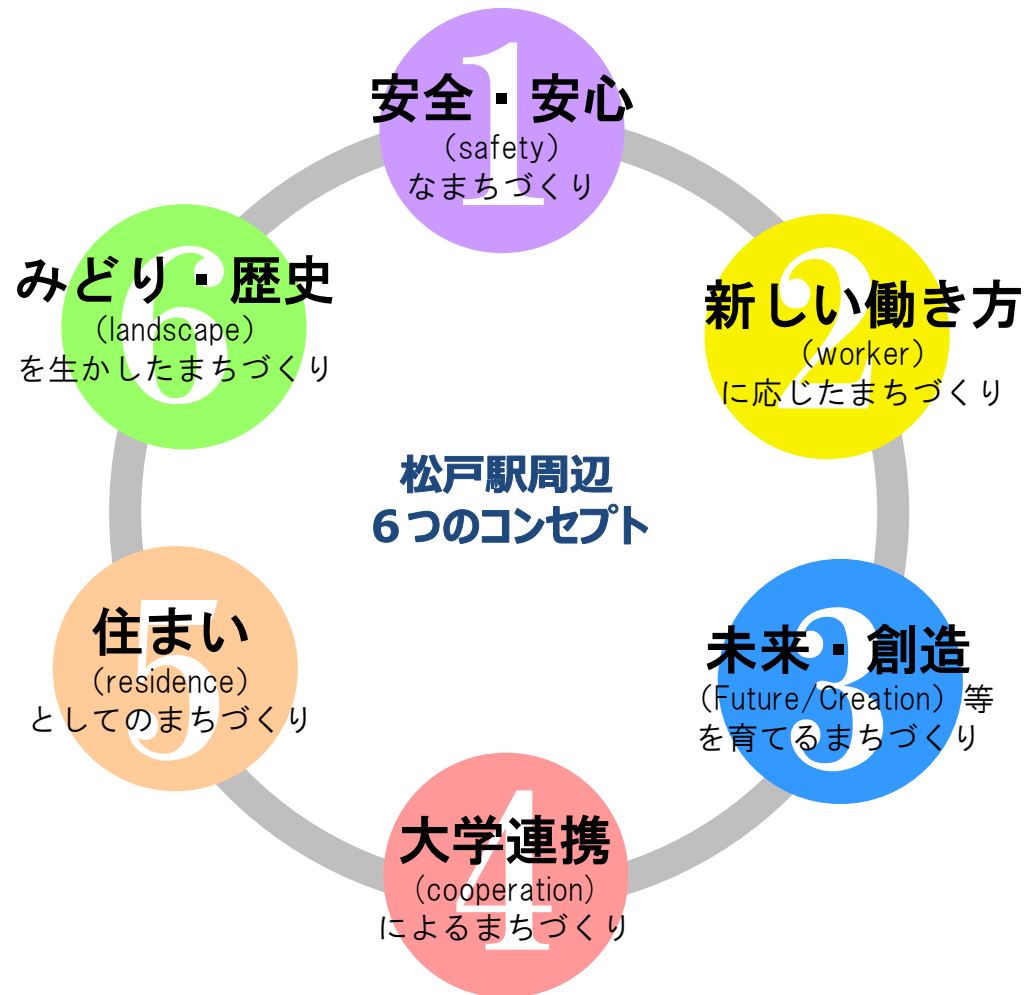
### 高度外国人材の受け入れ

在留期間や活動内容等の優遇が得られる在留資格「高度専門職」の整備や「日本版高度外国人材グリーンカード」の創設など、経済成長等への貢献が期待される専門的知識、技術を持つ外国人の呼び込みが進む。

### 「未来投資戦略2017」（平成29年6月9日閣議決定）

○KPI

2020年末までに10,000人の高度外国人材認定を目指す。  
さらに、2022年末までに20,000人の高度外国人材認定を目指す。



- 1 大学連携による地域課題の解決
  - ・子育て支援に関する地域サポート人材の育成。
  - ・市内4大学と地域社会の発展と人材の育成のための協定締結。
- 2 地形と緑の豊かさ、歴史的資源
  - ・高低差のコントラストが明瞭な地形構造。
  - ・新拠点ゾーン開発に伴い、松戸中央公園の再整備(約1.8ha)を予定。
  - ・旧松戸宿や坂川などの豊かな地域資源

## ●松戸市の上位計画

### 松戸市都市計画マスタープラン（平成11年）

・本地域は古くから本市の中心であり、交通結節点としての利便性が高く、また現在も拠点としての機能が集積していることをふまえ、今後も広域的な拠点として多様な活動と広域的な交流が可能になるよう、交通基盤の整備などを進めるとともに、松戸を代表する顔として、魅力ある都市空間を形成する。

### 松戸駅周辺まちづくり基本構想（平成27年）

・区域を「新拠点ゾーン」「商業・業務ゾーン」「都心居住ゾーン」に区分するとともに、「シンボル軸」及び「水・歴史資源」を加えた5項目について、取り組みの方向性を整理。

### 松戸市立地適正化計画（平成30年）

・都市基盤整備と合わせて商業・業務・文化機能の集積を図るとともに、交通結節点機能の強化を図り、都市機能の更新を進め、回遊性の高いまちの形成を図る。

## ●松戸市のポテンシャル

- 1 防災性の向上
  - ・1日約30万人が利用する松戸駅は鉄道・駅の交通結節点。大規模災害発生時に都市機能の継続と滞留者等の安全を確保する防災拠点が求められる。
- 2 起業支援・企業育成
- 3 サテライト/シェアオフィス誘致
  - 5 企業誘致・育成に向けたインキュベーション施設を整備中。
  - 5 高い交通利便性や潜在的に高い労働力は企業のサテライトオフィス設置ニーズを満たしている。
- 2 クリエイティブシティの推進
  - 3 海外アーティストやコンテンツ産業の誘致、育成支援。
  - 3 コンテンツ事業者の立地、イベント展開。
- 2 外国人ワーカーの生活サポート
  - 3 行政通訳による手続き支援や相談窓口の設置、日本語教室の開催。
- 5 多様な世代が暮らす住環境整備
  - 6 都心隣接の住宅地として成長してきた良好な住環境。
  - 6 三世同居・近居世帯への補助支援及び空家活用。
- 2 就労（リカレント）支援
  - ・女性の就労を支援する窓口が整備。
  - ・高学歴専業主婦比率が高く、潜在的労働力がある。
- 2 子育てサポートの充実
  - ・保育施設の充実や保育士手当等、子育て環境が充実。「共働き子育てしやすい街ランキング2017」（全国編）1位。



# 松戸駅周辺の将来像

松戸の歴史や文化を継承しつつ、新たなビジネスやライフスタイルを創出するクリエイティブシティ

## 1 安全・安心

### 災害に強い都市基盤の整備

#### 広域的な防災拠点

– 平時において1日30万人が利用する交通結節点であり、開発によりさらなる昼間人口の増加が予想されることから、災害発生時等の有事に備えてエネルギー供給による都市機能の維持と情報発信や滞在場所の確保による帰宅困難者の安全確保に取り組む。

## 新しい働き方

### 松戸型職住近接スタイルの実現

#### 働き方の自由度を高めるサテライト/シェアオフィス拠点

– 都心と郊外を結ぶ結節点である松戸駅周辺に都心オフィスのサテライトを誘致。都心ワーカーの通勤時間短縮によるプライベート時間の充実や子育て中の女性も働きやすい環境づくり。



キッズスペース付シェアオフィス「RYOZAN PARK 大塚」  
(出典：東京都創業NET HP)

#### アクティブシニアの雇用創出

– エリアマネジメントによるまちの維持管理においては、健康維持や、やりがいにつながる環境づくりを推進し、アクティブシニアの雇用機会を創出。

#### 子育て世代の公私をサポートする支援機能

– “小1の壁”の改善に向けたワーキングマザーの就労支援、学習塾と連携した放課後の居場所と新たな教育の場の創出。  
– サテライトオフィスと連携し、自宅近接で働ける企業とのマッチングや就労支援により、潜在的な女性労働力を生かせる仕組みを構築。  
– 子育てサポートの充実により、女性活躍企業の立地を推進。



明光キッズ (出典：明光キッズHP)



#### 外国人ファミリーの暮らしを

#### トータルサポートする支援機能

– 外国人ファミリーに向けた多言語での情報提供や生活支援による言語バリアの解消。  
– 外国人ワーカーが働きやすいビジネス環境、外国人子女への充実した教育サポート。  
– 日本の文化や暮らしとの交流。

## 3 未来・創造

### 新たなビジネスを生むクリエイティブ拠点の形成

#### 成長産業が集積し、イノベーションを創出するビジネス環境

– 海外アーティスト・クリエイターや、先端テクノロジーのスタートアップ企業、コンテンツ事業者に向けた、活動拠点の提供や創業・成長促進、企業とのマッチング等による包括的な支援。  
– 異分野・異業種共創による新たなビジネス創出。  
– クラウドファンディングを用いた空き店舗等の活用により地域を活性化。



品川産業支援交流施設 SHIP (出典：SHIP HP)

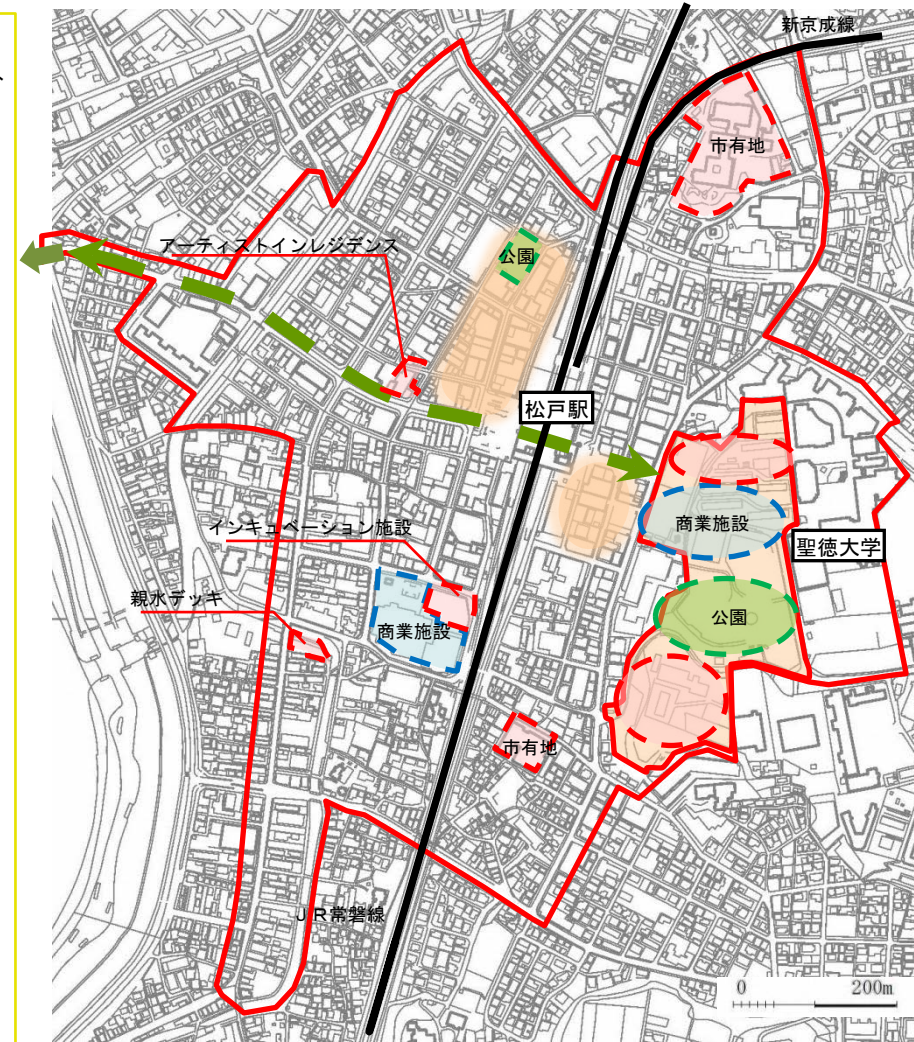
#### 先端カルチャーを発信するイベント展開

– 松戸に集まるクリエイターや成長企業の異業種コラボイベントを開催し、国内外へ新しいカルチャーを発信。  
– コンテンツ産業が集積する渋谷・原宿周辺（千代田線）やJOBANアートライン（常磐線）等の鉄道沿線のつながりを生かし、クリエイティブシティとしての拠点性を強化。



科学と芸術の丘2018

(出典：松戸市文化観光国際課)



## 4 大学連携

### 大学発のビジネス創出と人材確保

#### 地域のシンクタンク機能の形成

– 地域の抱える課題を産官学連携で解決していくシンクタンクとして市内4大学とのネットワーク体制を強化。専門的な知識やノウハウを生かした課題解決型の人材育成や先端技術等による大学発ベンチャー、産業支援等の新たなビジネス創出。

## 5 住まい

### 子育て世代や外国人ファミリーに選ばれる住まい

#### 多様な人々が暮らしやすい環境整備

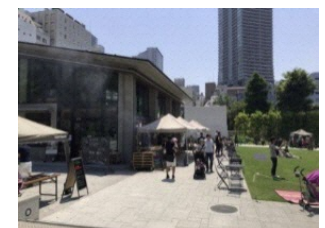
– 市庁舎跡地や文化施設跡地を活用し、子育て世代のファーストステップとなる駅に近接した賃貸住宅などによる定住促進。  
– 外国人ファミリーも住みやすく、暮らしやすい環境づくり。

## みどり・歴史

### 公園や地域資源を活用したにぎわいの創出

#### パークマネジメントの展開

– にぎわいを生む、アーティストや先端カルチャー等のイベント開催  
– 新拠点ゾーンに整備される商業・業務・文化機能をつなぐHUBとして公園施設を整備し、回遊性ににぎわいを創出。



南池袋公園

#### 地域資源を活用し、

#### 歴史や文化を次世代に伝える拠点形成

– 旧松戸宿に残る歴史的景観や坂川周辺の自然、寺社建造物といった地域資源を生かし、文化やみどりを感じられる街並みを創出。  
– かつて千葉大学工学部が立地し、デザイン教育のはりとして日本の工業デザインを支えてきたDNAを次世代に伝える。



# 松戸駅周辺の将来都市構造

松戸型の都市モデル実現に向け5つのコアにより面的ネットワークを創出

## 江戸川周辺 ⑥

### スポーツレクリエーション・フィットネスのコア

- 江戸川の自然環境を活用したスポーツレジャー機能、レクリエーション機能

## 松戸駅②③⑤

### 松戸の玄関口となる交通・商業・居住のコア

- 歩行者アクセスを改善する東西デッキ
- 鉄道やバスなど、各種交通機関に乗り継ぎしやすい東口駅前広場
- 駅周辺の商業機能を強化する新たな駅ビル（予定）
- 子育て世代の住まいのファーストステップとなる都市型住宅の整備
- 外国人ファミリーも住みやすく暮らしやすい都市型住宅の整備
- 共働き世帯を支える子育て支援施設

## 旧松戸宿・坂川周辺⑥

### 伝統的な暮らしと歴史的な街並みのコア

- 歴史と緑が調和した良好な街並みの形成
- 寺社や古民家などの歴史的建造物を活用した交流・観光スポット

## 市庁舎跡地②③⑤

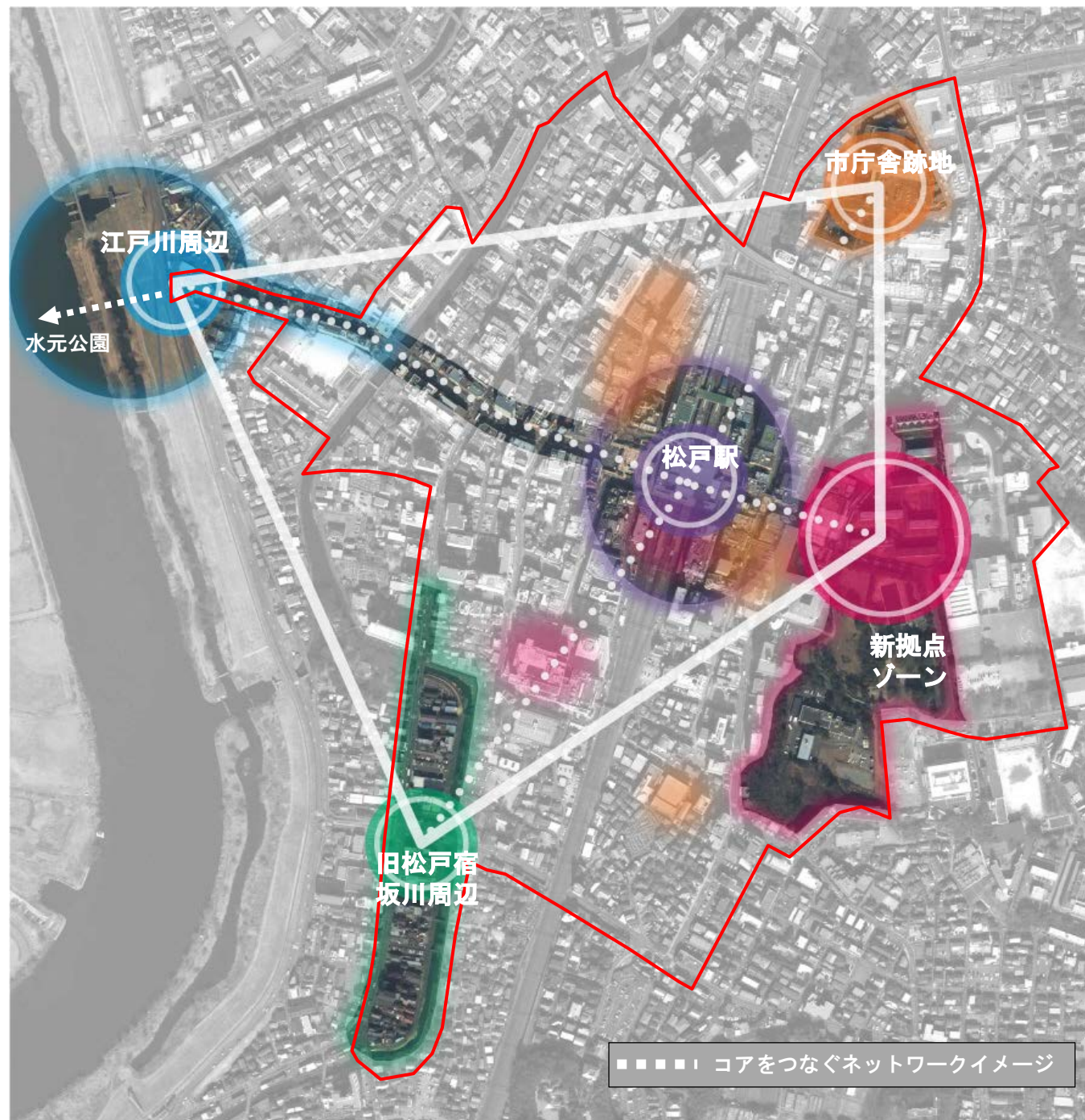
### 子育て世代をはじめ、誰もが住みやすいライフサポート・コア

- 子育て世代の住まいのファーストステップとなる都市型住宅の整備
- 外国人ファミリーも住みやすく暮らしやすい都市型住宅の整備
- 共働き世帯を支える子育て支援施設
- 外国人子女への教育サポート施設

## 新拠点ゾーン①②③④⑤⑥

### 文化・公共施設を中心に業務・商業と連携し多様な活動が生まれるコア

- 都心近接地に住むオフィスワーカーの働き方の自由度を高めるサテライト/シェアオフィス
- 民間企業と連携した、共働きの子育て世代を支える学童保育等
- 大学発ベンチャーや先端テクノロジー等のスタートアップ企業の成長促進、新規ビジネス創出の場となるインキュベーション機能
- 海外アーティストやコンテンツ事業者の滞在・活動拠点
- 再就職を目指す女性やアクティブシニアへの雇用支援機能
- 災害時に帰宅困難者等の安全を確保する防災活動拠点
- 国内外へ新しいカルチャーを発信するクリエイターや成長企業のイベント開催
- 豊かな緑環境の保全



(国土地理院 空中写真をもとに作成)



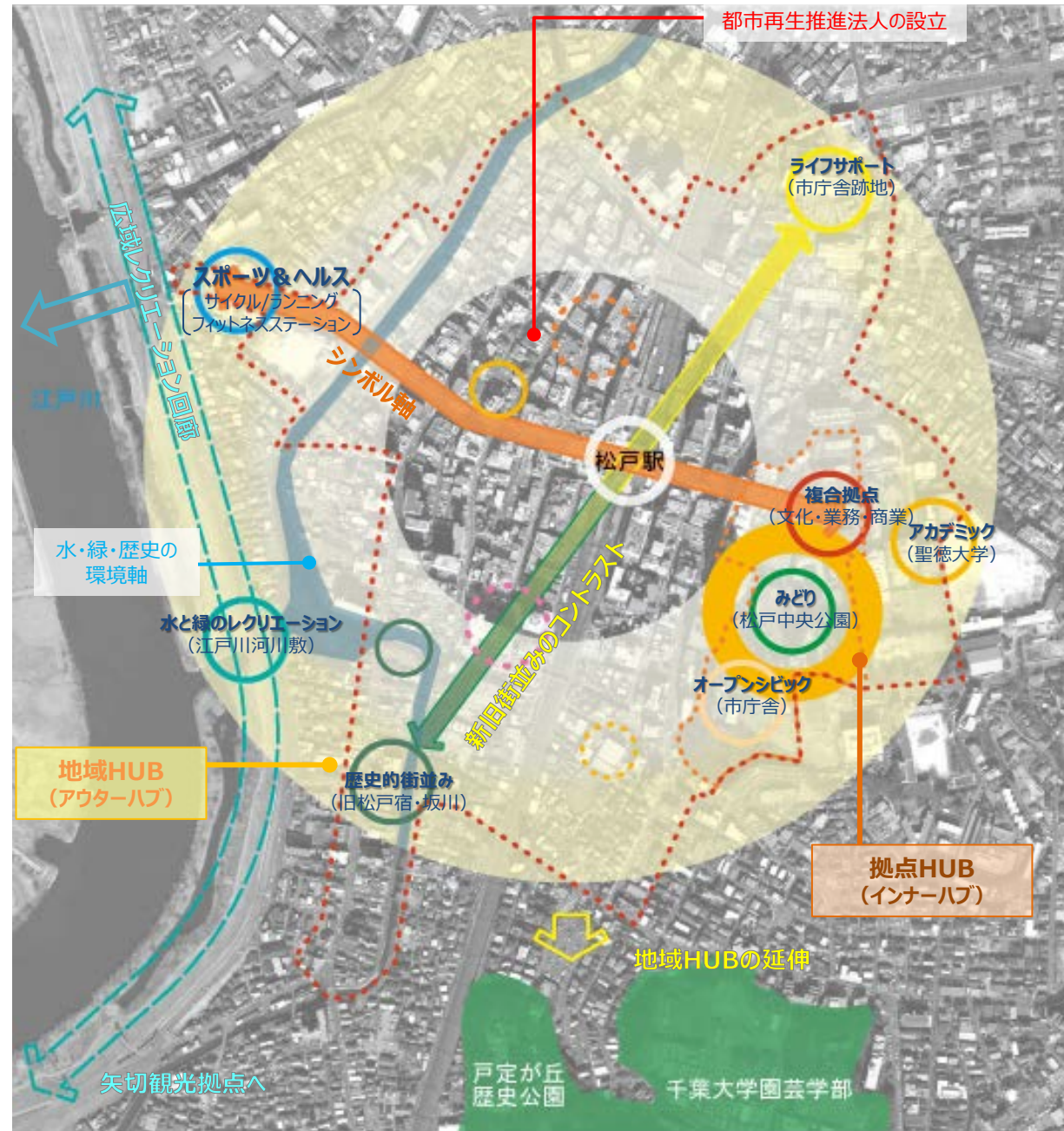
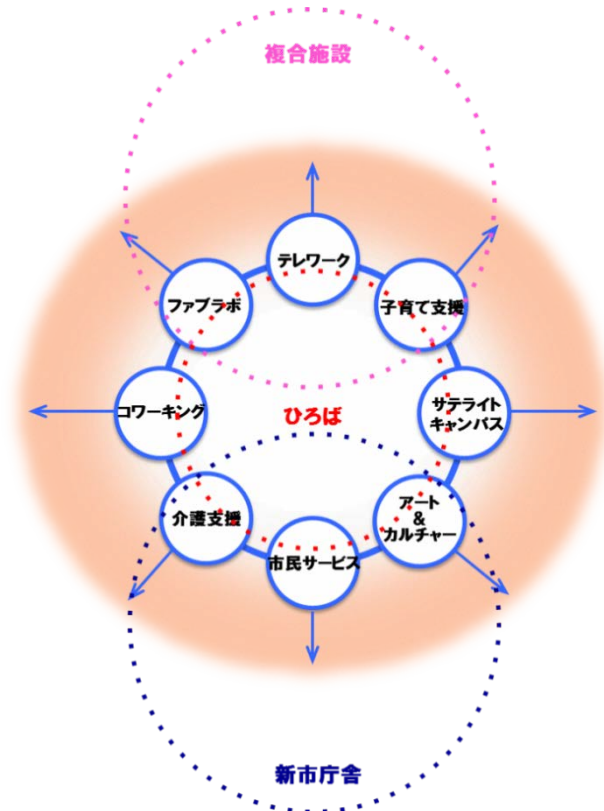
都市のにぎわいと活動を生み出す環境創造

## 拠点HUB：新拠点整備による新たな機能の付加

### 新しいライフスタイルを創造するひろば

- 松戸中央公園は緑豊かな空間を維持するとともに、災害時には防災・減災機能も担う空間とする。
- 併せて、広場を中心にして周辺に整備される文化・公共・商業・業務等の多様な都市機能の活動が公園まで展開し、これらのシナジーによる新たなライフスタイルの創造の場となる「hub」を創出

<「hub」のイメージ>  
新拠点ゾーンの「hub」が地域全体に波及



(国土地理院 空中写真をもとに作成)

## 地域HUB：コアの魅力を高める既存資源の活用

### スポーツレクリエーションを楽しむ水辺空間

- 江戸川河川敷では、周辺の観光拠点との近接性を生かした広域的なレクリエーション回廊の拠点をめざし、都市・地域再生等利用区域の指定により、水辺空間を活用したスポーツ・レクリエーション施設の整備を検討。

多摩川沿いのサイクルステーション (東京立川市)



(出典：多摩川創造舎HP)

SUP体験 (大阪中之島)



(出典：国交省HP)

## 旧松戸宿・坂川沿道の景観形成

- 旧松戸宿の記憶を継承し、にぎわいのある景観を形成するため、地域を特徴づける風景サインや歴史的資源を保全
- 坂川沿道では、「川と歴史と桜並木」が感じられる景観を形成するため、自然に調和した風景サインの設置や既存樹木の保存及び緑化を推進
- 併せて、旧松戸宿と坂川を結ぶ沿道において、回遊性を向上させるため、「低未利用地利用権設定等推進計画」の活用を検討し、舗装整備や公共サインの演出、休憩スポットの設置を推進



## 新拠点ゾーンから江戸川までのスムーズなアクセス

### 東西自由通路の利便性向上

- ・松戸駅の東西結節機能を強化するため、改札外コンコースと自由通路を結合し、利用しやすい改札外通路を整備（予定）

### 駅から周辺施設へのアクセス強化

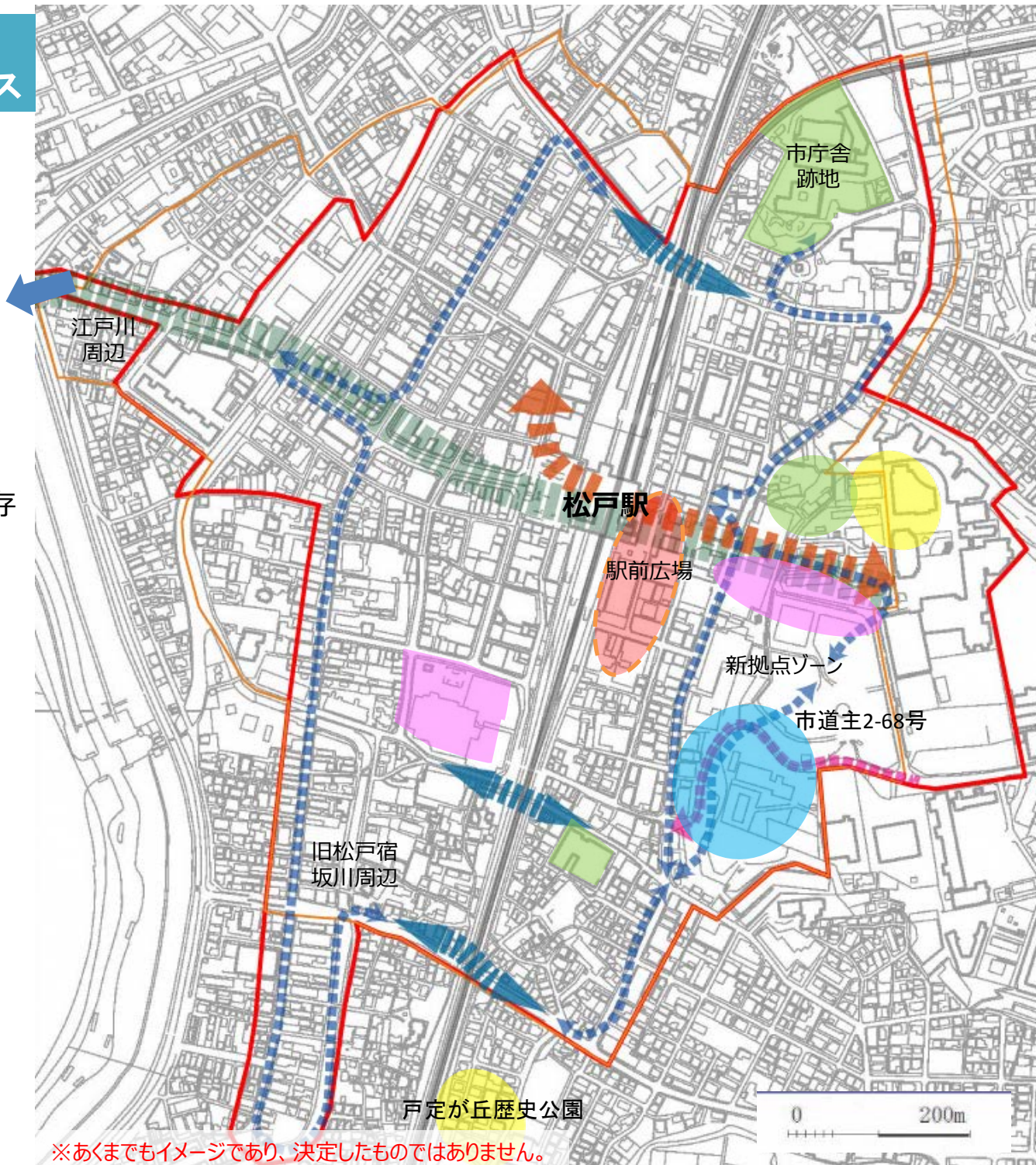
- ・東口から新拠点ゾーンへの歩行者アクセスを改善するため、再開発とあわせて歩行者デッキ及びエスカレーターを整備
- ・西口から周辺建物への歩行者のアクセスを改善するため、西口の再開発とあわせ、既存デッキを延伸

＜東口デッキイメージ＞



### シンボル軸の景観形成

- ・新拠点ゾーンと江戸川をつなぐ地域の中心軸にふさわしい景観を形成するため、沿道建物の形態、色彩などを誘導



## 松戸駅東口の交通利便性の改善

### 交通結節機能の強化

- ・鉄道やバスなど各交通機関への円滑な乗換えを目指し、将来の市街地整備に見合う東口駅前広場を整備
- ・東口駅前広場とあわせて、バスターミナル及び自転車駐車を整備

### 新拠点ゾーンへのアクセス強化

- ・市道主2-68号から新拠点ゾーンまでの道路拡幅及び国道6号の交差点を改良
- ・駐車場整備とあわせて歩行者のバリアフリー動線の確保

### 歩行者ネットワークの向上

- ・東西の回遊性向上に向けて、区域の南側と北側の3か所にバリアフリー化された歩行者用の東西連絡橋を整備
- ・多くの観光客が訪れる戸定が丘歴史公園への歩行者環境向上

凡例					
	シンボル軸		東西連絡橋		回遊イメージ
	歩行者デッキ		拡幅道路		2項再開発促進地区
	住宅エリア		商業エリア		業務エリア
	文化エリア		交通整備エリア		



# 松戸駅周辺の都市再生の考え方

	現在取り組んでいること	整備地域指定後に取り組んでいくこと
<b>防災</b> 該当コンセプト <b>1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅周辺施設での帰宅困難者対応（エリア防災計画）</li> <li>・災害発生時の連携・協力体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政機能の集約に伴う防災拠点整備</li> <li>・帰宅困難者対策にも有効な防災公園の整備</li> <li>・再開発等とあわせた帰宅困難者受け入れ、備蓄倉庫の整備</li> </ul>
<b>子育て 就労</b> 該当コンセプト <b>2 5</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサポートの充実</li> <li>・女性の就労（リカレント）支援</li> <li>・市内小中学校で外国人教師によるオールイングリッシュ授業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習塾と連携した学童保育の整備</li> <li>・ハローワークと連携した女性の就労・起業支援</li> </ul>
<b>企業 外国人ワーカー</b> 該当コンセプト <b>2 3 5</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インキュベーション施設の整備</li> <li>・外国人ワーカーの生活サポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サテライトオフィス、シェアオフィスの誘致</li> <li>・ベンチャー企業の創業、育成支援</li> <li>・企業立地促進補助金の充実</li> </ul>
<b>文化 アート</b> 該当コンセプト <b>2 3</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外アーティストの滞在制作支援</li> <li>・コンテンツ事業者の誘致、活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外アーティストに向けたアトリエ兼レジデンス整備</li> <li>・クリエイターの活動を発信するギャラリー、展示会場整備</li> </ul>
<b>大学 連携</b> 該当コンセプト <b>4</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元大学と連携した子育て支援人材の育成</li> <li>・市内4大学と地域社会の発展と人材の育成のための協定締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元大学と連携したサポート人材の育成強化</li> <li>・先端技術等による大学発ベンチャーの起業支援</li> <li>・産官学によるエリアマネジメント</li> <li>・サテライトキャンパス</li> </ul>
<b>住まい</b> 該当コンセプト <b>5</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三世帯同居近居補助金の実施</li> <li>・中央公園の再整備（予定）</li> <li>・空家の対策と活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯の定住化の促進</li> <li>・公共施設の跡地を活用した子育て世帯誘致に向けた賃貸住宅整備と家賃補助等の施策展開</li> <li>・外国人ファミリーの誘致に向けた住宅整備や規制緩和</li> </ul>
<b>みどり・歴史</b> <b>6</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧松戸宿における高張提灯など、地域を特徴づけるサインの整備</li> <li>・旧松戸宿や坂川の景観形成に向けたガイドラインの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公園を核としたエリアマネジメントの展開</li> <li>・旧松戸宿などの歴史的資源と坂川や江戸川などの自然資源を生かした観光スポット、広場空間の整備</li> </ul>



① 大規模災害発生時の松戸駅周辺の想定

a. 駅周辺に多くの人々が集中

災害発生時の駅周辺の想定

- (1) 信号の停止により、事故や交通渋滞が発生
- (2) 駅周辺の商店街、施設等の利用者が、情報を求めて**一時的に駅に集中**
- (3) 各施設は、可能な限りで利用者を施設内に留めるものの、**安全が確保できない場合は、利用者が駅周辺に滞留**また、**駅近辺を走行していた鉄道の利用者が駅に誘導**され、駅舎から利用者があふれ出る
- (4) 国道6号線沿いの**徒歩帰宅困難者が情報収集のため駅周辺に集まる**

(出典：松戸駅周辺エリア防災計画(平成29年))

b. 一時滞在施設収容人数を上回る帰宅困難者数

平日昼12時に大機後地震が発生した場合の帰宅困難者数

松戸駅 帰宅困難者数	<b>約7,880人</b> (その他、国道6号徒歩者も想定される) (駅:約7,300人、通過列車乗客:約580人)
一時滞在施設 収容人数	<b>約1,600人</b> (市民会館約1,000人、市民劇場約300名、東葛飾合同庁舎290名)
(参考)松戸市 帰宅困難者数	約32,700人

(出典：千葉県地震被害想定調査(平成28年3月))



●松戸中央公園の再整備にあわせた防災拠点化

松戸駅周辺に、一時滞在施設の収容範囲を超えた帰宅困難者を誘導する安全な空地の確保が求められている。

**松戸中央公園の再整備にあわせて、  
滞留者・来訪者の安全を確保する防災拠点を整備**

- ①情報発信 ②一時退避場所 ③徒歩帰宅支援 ④備蓄(飲料・食糧)トイレなどの提供

松戸中央公園



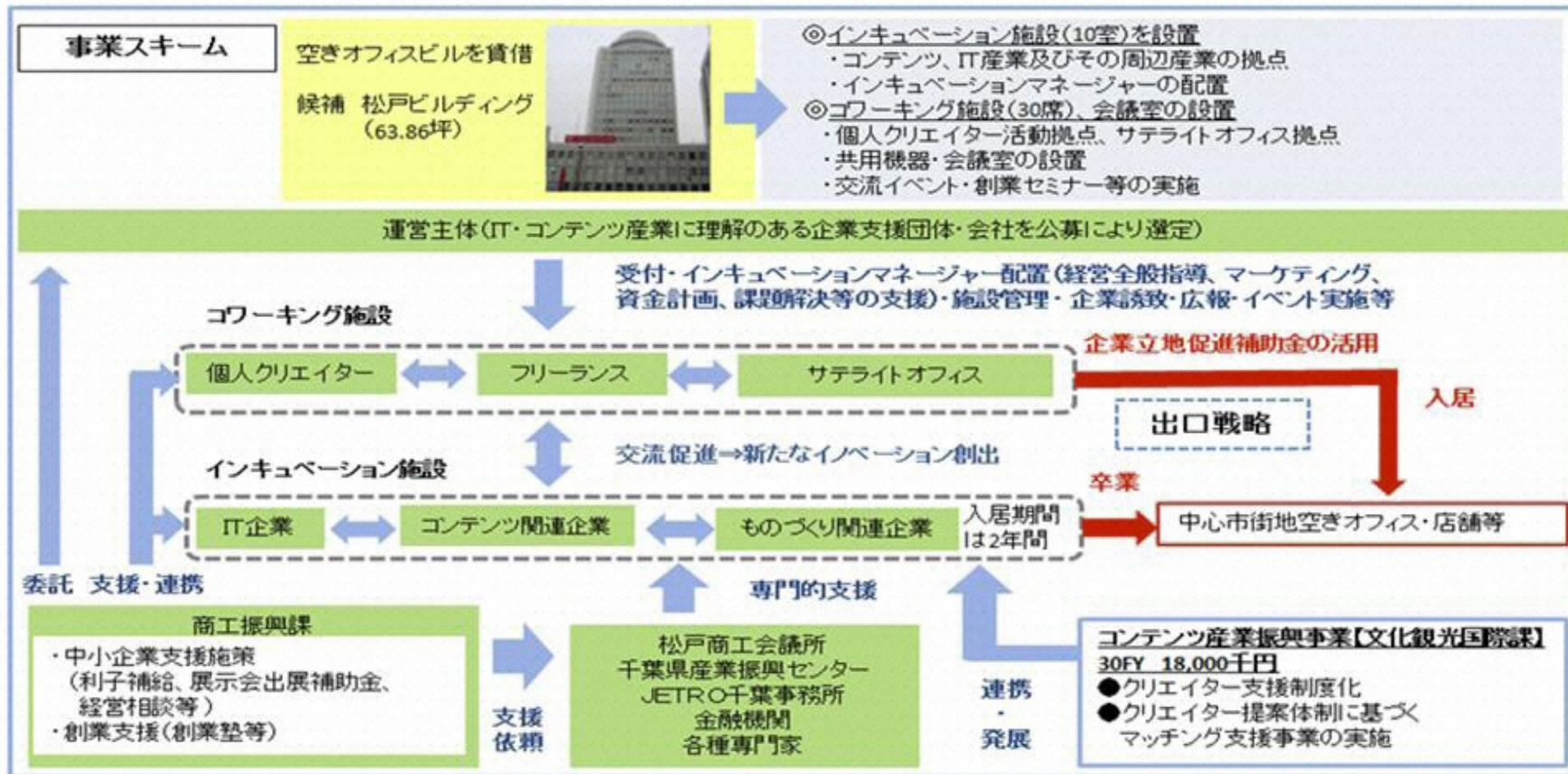


経済振興部商工振興課

予算 43,350千円

インキュベーション施設整備運営事業

- 雇用・昼間人口・事業所数の増加を図るため、企業を誘致・育成することが急務。
- そこで、市が空きオフィスに、当部が力を入れてきた「コンテンツ産業」を切り口としたインキュベーション施設を設置。ベンチャー企業、海外企業等に対し、安価な賃料で事業用スペースを提供することで、市内におけるITやコンテンツ産業などの拠点とするとともに、知見を有するインキュベーションマネージャーを配置し、企業を誘致・育成する。
- また、場所や時間にとらわれない働き方を実現するため、個人のクリエイターなどフリーで活動する方の拠点や企業のサテライトオフィスの拠点となるようコワーキング施設を併設する。
- 更に、インキュベーション・コワーキング施設の入居者同士との交流イベントなどを開催することで、新たなイノベーションを生みだすことができる空間として機能させる。



	平成30年度 経費積算	平成31年度 経費積算
改装費	15,000	0
家賃	5,380	10,759
敷金	9,240	0
運営委託費	8,000	19,562
備品費・建物維持費等	5,730	6,901
計	43,350	37,222

施設の賃料見込  
平成31年度70%稼働で5,757千円

地方創生推進交付金の活用を検討

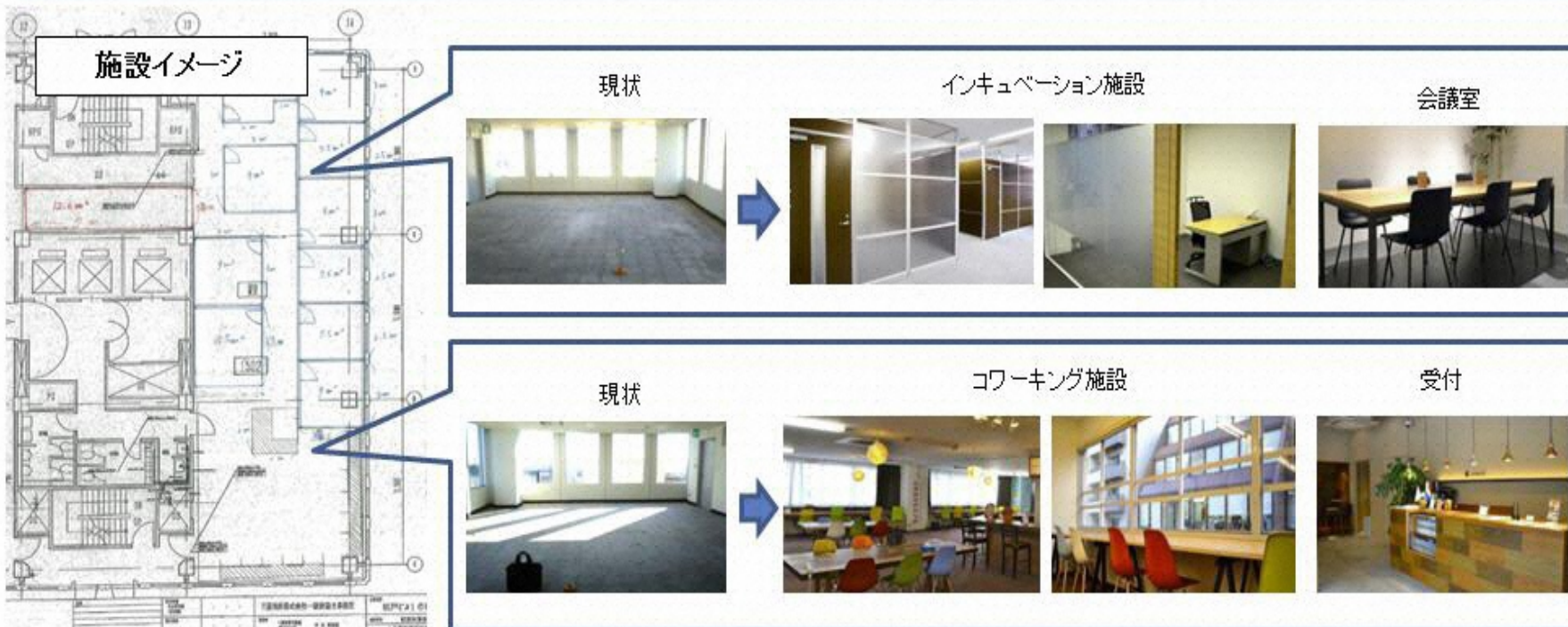
- 千葉県、内閣府に事前相談を実施済み
- 今後のスケジュール  
実施計画提出 1月22日～25日  
交付決定 4月以降
- ※ 交付金が採択された場合、  
平成30年度の交付金の見込額は17,055千円  
平成31年度の交付金の見込額は18,611千円

効果

- 昼間人口、雇用の増加、事業所数増加
- コンテンツ産業の集積・拠点化による中心市街地の活性化・イメージアップ、既存産業の高付加価値化
- 交流促進による新たなイノベーション創出

スケジュール

- 平成30年度に施設整備  
10月頃に事務所の賃貸契約を締結。その後、数か月かけてパーティション設置工事、電気工事等を実施。  
平成31年2月までに施設整備完了。
- 平成31年度(平成31年4月を予定)に運営開始

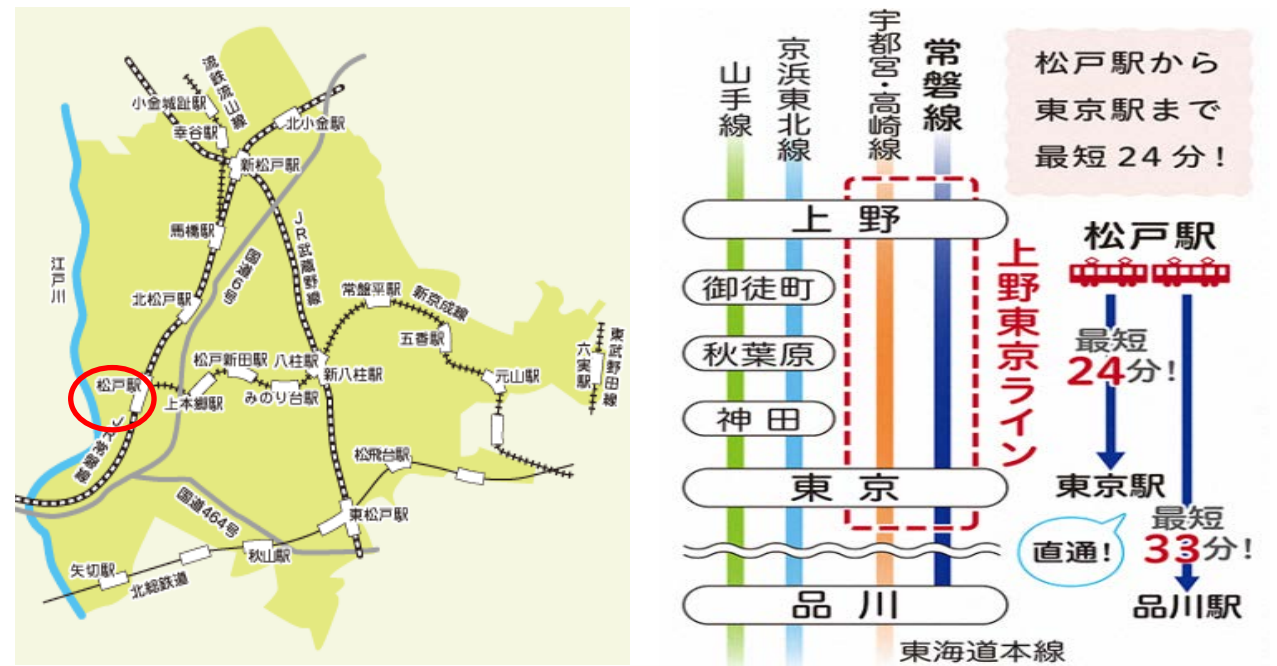




### ②③⑤ 松戸市のサテライトオフィスニーズ

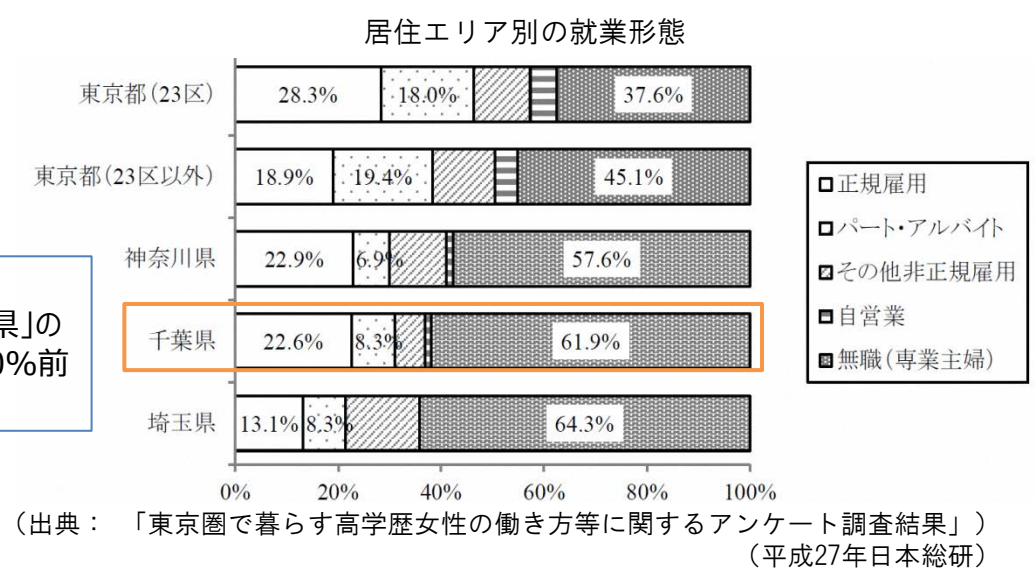
#### a. 都心近郊で高い交通利便性

- ・鉄道6路線、バス24路線69系統が整備
- ・「上野東京ライン」の開通により東京駅まで最短24分（9分短縮）品川駅までは最短33分（8分短縮）となり、アクセスが向上。  
（上野東京ライン：平成27年3月14日開通）

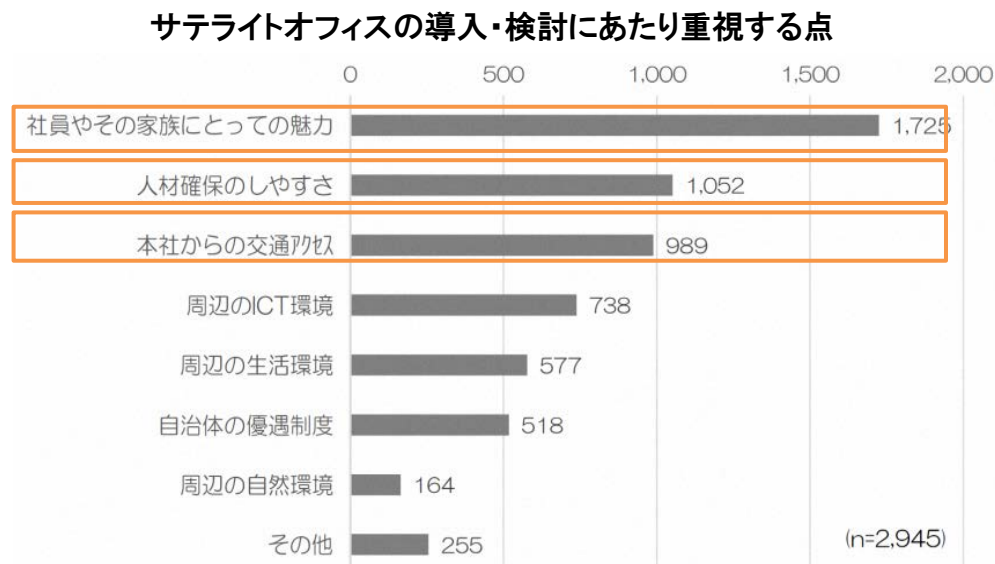


#### b. 潜在的に労働力が高く、人材が豊富

・多くの企業が都心部にオフィスを構えているため、子どもがいないうちは職住近接のために23区内に居住しながら正規雇用として働くが、子育てを行う専業主婦となると、世帯年収の減少や子育て環境への考慮から、東京近郊都市に居住することが想像できる。  
しかし、働く時間や場所を柔軟に選択できる環境整備づくりが進められると、仕事と家庭の両立がしやすくなり、東京近郊都市に住む女性が望むライフスタイルの選択肢が増えると考えられる。



#### ● 民間企業のサテライトオフィス設置ニーズ



出典：「「サテライトオフィス」設置に係る民間企業等のニーズ調査」（平成29年総務省）



#### 松戸市はサテライトオフィス誘致の潜在的な魅力を有する

- ①居住地からの近さ・生活利便性
- ②交通利便性

➔ a. 都心近郊で高い交通利便性

- ③人材の豊かさ

➔ b. 潜在的に労働力が高く、人材が豊富



②③ クリエイティブシティ推進の取組み

a.アーティストの誘致、アートイベントの開催

- ・元ラブホテルを改装したアーティスト・イン・レジデンス「PARADISEAIR」では、海外アーティストが滞在・制作・発表を行っている。年間約600組の応募があり、4年間で約150組が滞在。駅周辺のまちなかには、滞在したアーティストの作品が残されている。
- ・2018年10月には「科学と芸術の丘2018」と題して戸定が丘を中心に、世界的メディアアートの専門機関「アルスエレクトロニカ」、東京大学宇宙線研究所、東京大学デザインラボ、千葉大学園芸学部、などと協力・連携した国際アートフェスティバルを地域の若手アーティスト・クリエイター等が運営して開催した。



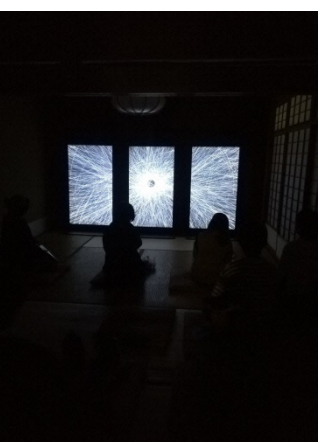
PARADISE AIR 外観 (出典:松戸市文化観光国際課)



西口公園トイレ (出典:PARADISE AIR HP)



科学と芸術の丘2018 (出典:松戸市文化観光国際課)



b.コンテンツ産業の振興

- ・松戸市にゆかりのあるバンダイナムコやタツノプロと連携して、成長産業であるコンテンツ事業者誘致に取り組んでいる。
- ・「松戸コンテンツ事業者連絡協議会」を設立し、現在34事業者が加盟。市内事業者のネットワークづくりやマッチング支援等に取り組んでいる。
- ・大手コンテンツ事業者と連携したイベントを開催。  
(イベント例) 松戸花火大会にてアニソンTV番組とタツノプロが共同イベント  
Cygamesによるゲーム作り体験イベント  
バンダイナムコによる謎解きイベント



コンテンツ産業の振興 (出典:松戸市文化観光国際課)

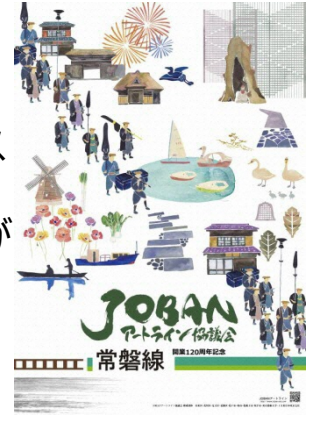


松戸花火大会 (出典:松戸市花火大会実行委員会事務局)

c.鉄道沿線のポテンシャル

- ・東京メトロ千代田線は、コンテンツ産業が集積している渋谷・原宿に通じている。
- ・JR常磐線沿線では、上野・北千住・取手に東京藝術大学のキャンパスがあることから沿線の4区と4市（台東区・荒川区・足立区・葛飾区・松戸市・柏市・我孫子市・取手市）及び、東京藝術大学、JR東日本東京支社が「アート」をキーワードとして関わりながら常磐線沿線のイメージアップと活性化を目的として「街」や「人」をつなげていく「JOBANアートライン」という取り組みを行っている。

常磐線開業120周年記念ポスター (出典:松戸市HP)



クリエイティブ産業の拠点形成に向けて取り組みを進めている



②③⑤ 外国人サポート

a.外国人が生活しやすい環境づくり

- 英語と中国語の行政通訳による手続きサポート。
- 市内在住、在勤者へ向けた日常生活における相談窓口の設置。  
(英・中・スペイン・タガログ・ベトナム)
- 「松戸市日本語ボランティア会」や「外国人の子供のための勉強会」による日本語教室の開催。
- 松戸市役所への各種手続きや毎日の暮らしに必要な情報を掲載した「松戸市生活ガイドブック」や税金制度等を説明した冊子を作成。
- 外国籍児童、生徒への日本語指導支援の実施  
日本語指導支援スタッフ（日本語による日本語指導）を派遣  
日本語指導協力者（母国語による日本語指導）を派遣



松戸市日本語ボランティア会  
(出典：松戸市HP)

市内小学校の児童数	23,051人	市内中学校の生徒数	10,915人
うち、外国籍児童数	465人	うち、外国籍生徒数	136人

松戸市に住むことのガイドブック  
(出典：松戸市HP)



**外国人が生活しやすいサポート体制がある**



5 住環境整備への取り組み

a. 三世代同居近居補助制度の実施

- 子育て世代の誘致に向けて、新たに親元に住まいを取得する子育て世帯を対象とした補助制度を実施。
- 補助金を動機付けとした転入世帯割合は52.6%、市内移動世帯は18.8%。市外転入者が市内移動世帯を上回っている。



松戸市(平成30年4月1日改正版)  
 これから親と近居・同居する  
**子育て世帯に最大100万円の補助金を支給!**  
 親元に近居・同居する子育て世帯の住宅取得を応援します!  
 近居なら**50万円** ※2km以内  
 同居なら**75万円**  
 さらに市外から転入の場合は**25万円加算**  
 さらに住宅金融支援機構の「フラット35」の借入金利から**当初5年間、年0.25%引き下げ**  
 手続きの流れ: 松戸に住もう! → 事前相談書提出 → 住宅取得契約  
 松戸市では、子育て世代に選ばれる魅力的なまちづくりを進めるために、親元に住まいを取得する子育て世帯を支援します。親が育児や子育てのサポートをすることにより、不安や負担を軽減し、安心して子どもを育てられる環境をつくります。

出典：松戸市HP

三世代分析研究概要書（第1回協議会資料より）

施策効果の種類	補助種別	補助額合計	全体件数	効果件数 補助金を動機とした件数	直接効果項目年額		回収期間(年)
					住民税	固定資産税	
呼込効果 (転入)	新築	同居	38	20	0,740 (437)	1,449 (72.5)	2.9
		近居	5	3			
	中古	同居	26	18			
		近居	7	15			
転出抑制効果 (市内移動者)	新築	同居	0	0	3,983 (332)	711 (59.3)	7.2
		近居	7	2			
	中古	同居	64	12			
		近居	58	9			
			51	8			
			0	0			
			6	3			
			6	3			

b. 空家の対策と活用

- 空家の多様な活用を進めるため、地域のまちづくりに資するような空家の利活用に対して補助金を交付する。  
(こけし荘リノベーション：千葉大園・まちづくりエイティブ)



- 原田米店は、民間事業者が築104年の古商家（空家）を活用し、11組のアーティストやクリエイターの活動拠点となっている。



原田米店（まちづくりエイティブ）

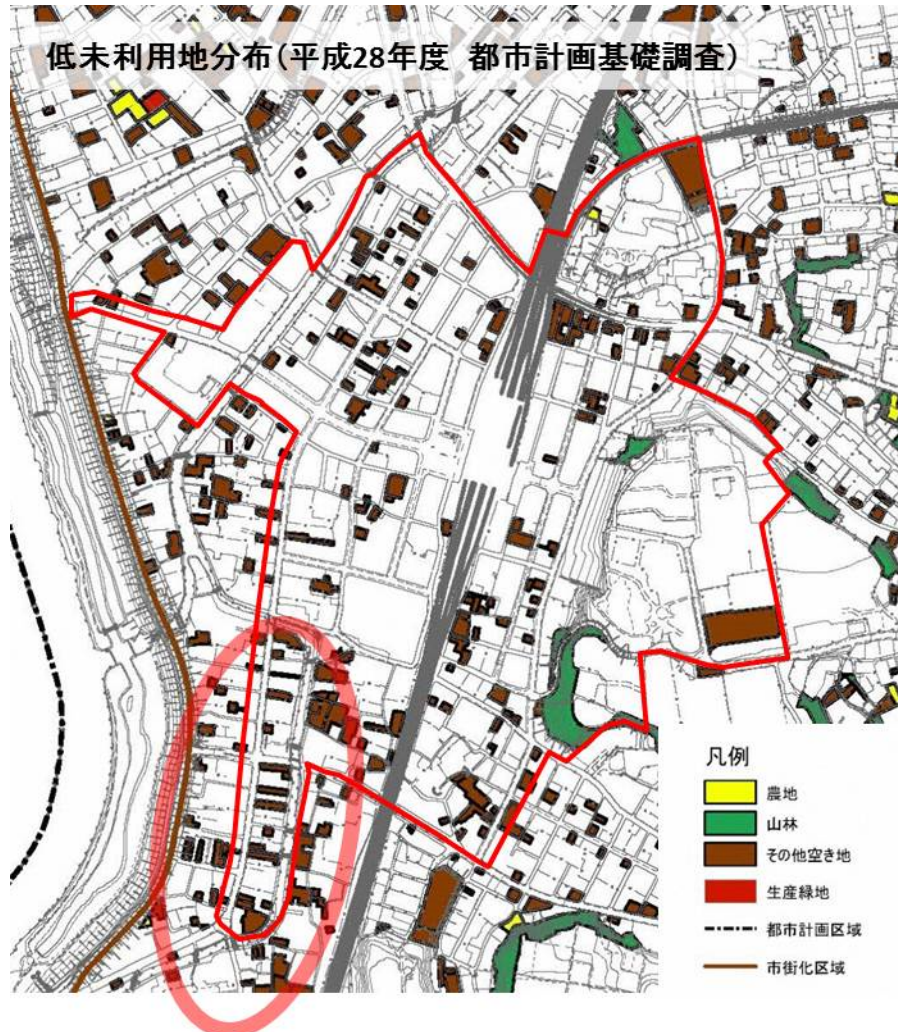


これまで培われた良好な住環境を生かしつつ  
 多世代が暮らしやすい環境整備に取り組んでいる



5 住環境整備への取り組み

a. 低未利用地分布 b. 空き家状況



・旧松戸宿周辺を中心に駅の東西に一定の未利用地が広がっている。



・緊急整備地域の想定区域内では、18軒の空家が存在する。(平成27年度時点)



旧松戸宿周辺では、「低未利用土地利用権設定等促進計画」※を検討

※「低未利用土地利用権設定等促進計画」

低未利用地の地権者等と利用希望者とを行政がコーディネートし、所有権にこだわらず、複数の土地や建物に一括して利用権を設定する計画



国土交通省



②⑤ 子育てサポート・就労(リカレント)支援状況

a. 子育て支援施設や子育てサポートが充実

- ・「日経DUAL 共働き子育てしやすい街ランキング2017 (全国編)」で1位獲得 (受賞ポイント)
- ・3年連続待機児童ゼロ (国基準)
- ・市内全23駅の駅前、駅ナカに小規模保育施設を設置
- ・保育士へ松戸手当を支給 (市独自の給料上乘せ)
- ・幼稚園での預かり保育の充実
- ・市内全45小学校区に放課後児童クラブを完備
- ・病児、病後児保育の充実
- ・産後ケア、乳児家庭全戸訪問等の実施による切れ目ない支援
- ・5歳児から中学3年まで10年間の松戸英語の実施

b. 子育てしながら働きたい女性に向けた相談窓口が整備

- ・働きたい女性の就労に向けた就労相談や起業アドバイス、就労時の課題となる子育て支援、介護支援への情報を提供する総合的な相談窓口を設置。
- ・子ども連れでも利用しやすいよう、同フロアでの一時預かりサービスも実施
- ・平成28・29年度は、116人利用のうち21人が就職。
- ・松戸市における女性就労率の目標達成。  
 目標値：63% 実績値：69.4%  
 (調査対象：松戸市に居住する20歳以上の女性)  
 (抽出方法：層化無作為抽出)



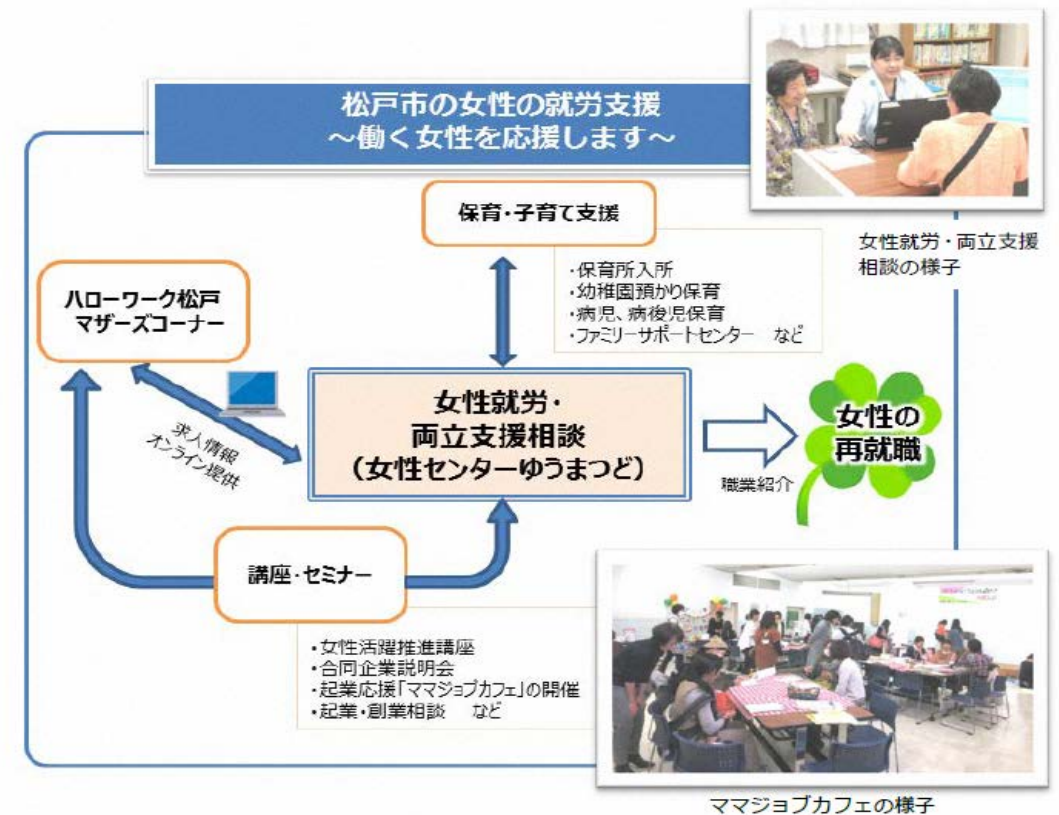
保育士へ市独自の手当を支給



保育施設の整備



放課後児童クラブ整備 (出典：松戸市HP)



働きながら子育てしやすい環境が充実しており、女性の再就職支援へ向けた支援にも取り組んでいる



4 地元大学と連携した取り組み

a. 地元大学の取り組み

聖徳大学の子育てサポート

- ・子育て中の親と子の交流の場、子育ての相談の場を提供。また、地元大学の教員や保育者を目指す学生が子育てに関する情報提供等を行う“ゆるりん”講座や手遊びイベント等を開催。
- ・保育や子育て支援の事業に従事するために必要な知識や技能を修得する「子育て支援研修」を地元大学の運営で開催。修了者は「松戸市子育て支援人材バンク」等に登録し地域の子育てを支える人材となる。平成27年度までで44名が登録している。



聖徳大学での取り組み（出典：聖徳大学HP）

千葉大学園芸学部と住民による取り組み

- ・学生と住民が共同で取り組むコミュニティガーデンの運営や、戸定祭（大学祭）での果物や野菜、苗の販売に取り組んでいる。



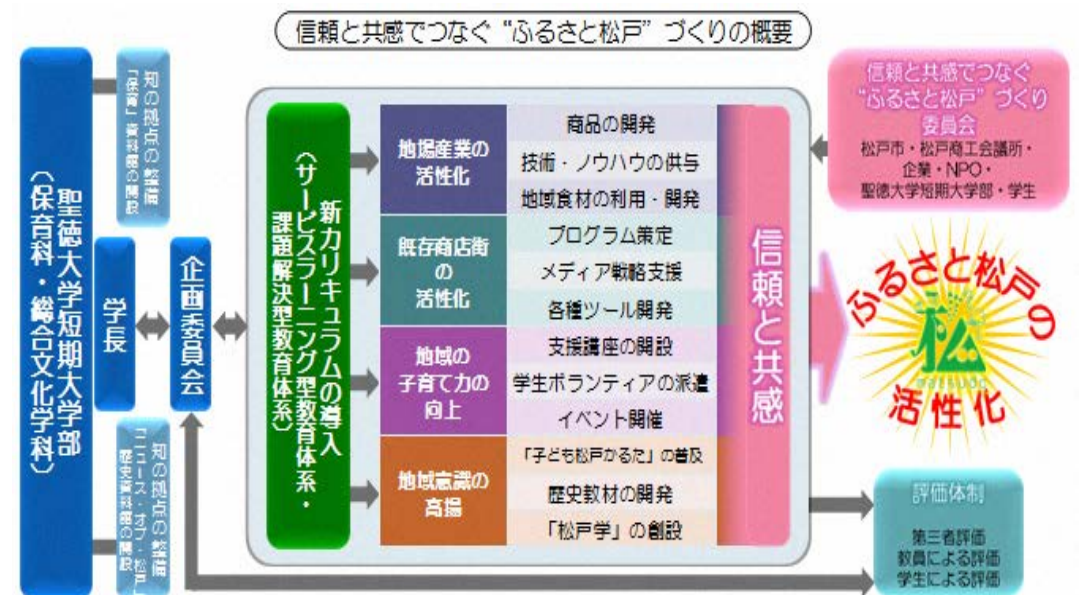
「戸定みんなの庭」の取り組み（出典：千葉大学HP）



戸定祭での花卉販売（出典：千葉大学HP）

b. 地元大学との連携による地域の課題解決

- ・松戸市は、市内にキャンパスを構える4大学（千葉大学、聖徳大学・聖徳大学短期大学部、流通経済大学、日本大学松戸歯学部）と連携協定を締結。地域社会の発展や地域の課題解決に向けた取り組みを実施。
- ・上記4大学以外も含め、平成29年度現在で120件の連携事業を行っている。  
連携概要：① 相互の教育機能の向上に関する連携  
② 各大学の個性を生かしたまちづくりの推進に関する連携  
③ 人的、物的交流に関する連携
- ・産学官連携による新しい都市ブランドの構築、新たなビジネスモデルの創出をめざし、地元大学と商工会、農業組合、行政による懇談会を設置。



聖徳大学短期大学部での取り組み（出典：聖徳大学HP）  
文部科学省「地（知）の拠点整備事業」に基づく体制図（平成25～29年度）

大学と連携して地域支援・課題解決を行っていく体制が整っている

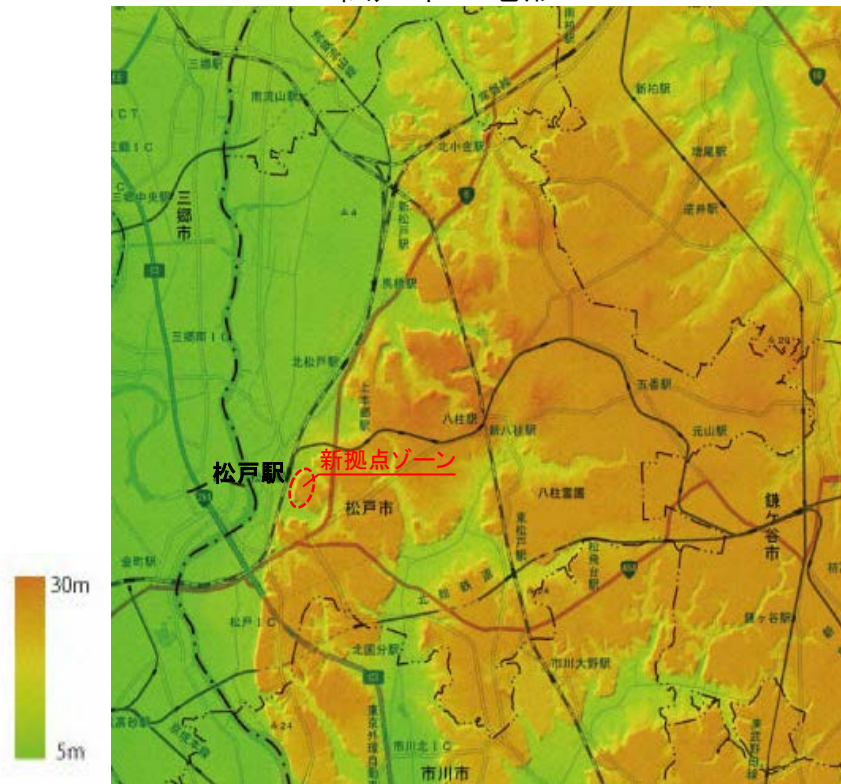


### ⑥ 松戸市の豊かな自然環境

#### a. 高低差が明瞭な地形構造

- 江戸川沿いの沖積層の低地と洪積層の台地のコントラストが明瞭な地形構造。
- 松戸駅は軟弱な地盤の低地に位置している。一方で、新拠点ゾーンの位置する相模台は地盤も安定した台地上に立地し、約20mほどの高低差がある。

松戸市の地形



(出典：国土地理院「標準地図」「識別標高図」を加工して作成)

#### b. 緑豊かな環境

- 松戸駅周辺には、江戸川や坂川、松戸中央公園、千葉大園芸学部などの水・みどり資源が点在している。
- 特に都心近郊でありながら、駅近くに近隣公園のみどり豊かな環境を有している。



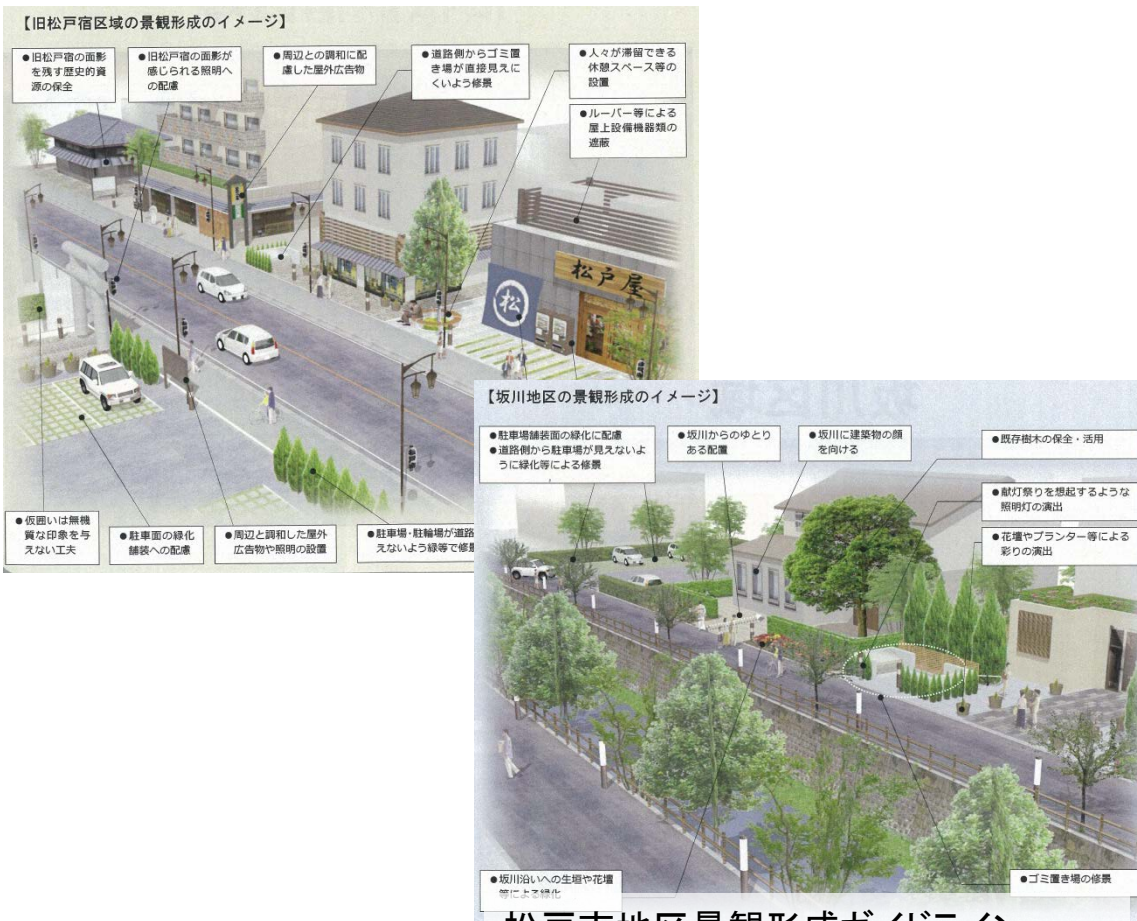
**豊かな自然環境があり、今後新拠点ゾーンの  
開発に併せて松戸中央公園の再整備が行われる**



### 6 松戸市の歴史的資源

#### a. 旧松戸宿や坂川の景観と取り組み

- 坂川は、20種以上のトンボが舞うなど自然豊かな水辺空間が形成されているとともに、周辺には歴史ある寺社が残っており、自然と歴史の要素を併せ持つエリアとなっている。
- 現在も古い町屋などが点在する旧松戸宿及び坂川周辺では、まちの魅力向上や活性化につながる取り組みとして、地区関係者とともに景観形成ガイドラインを策定中である。



松戸市地区景観形成ガイドライン (旧松戸宿・坂川地区編) <策定中>

#### b. 千葉大工学部のデザイン教育

- 1945年、先駆的なデザイン教育を行っていた東京高等工芸学校を前身とする東京工業専門学校（後の千葉大学工学部）が東京から相模台地区に移転。以後、約20年間松戸にあって、戦後日本のデザインを支えるデザイナーや芸術家を輩出した。

<卒業生の作品>

「明治ミルクチョコレート」ポスター (大橋正)



籐丸椅子 (剣持勇)



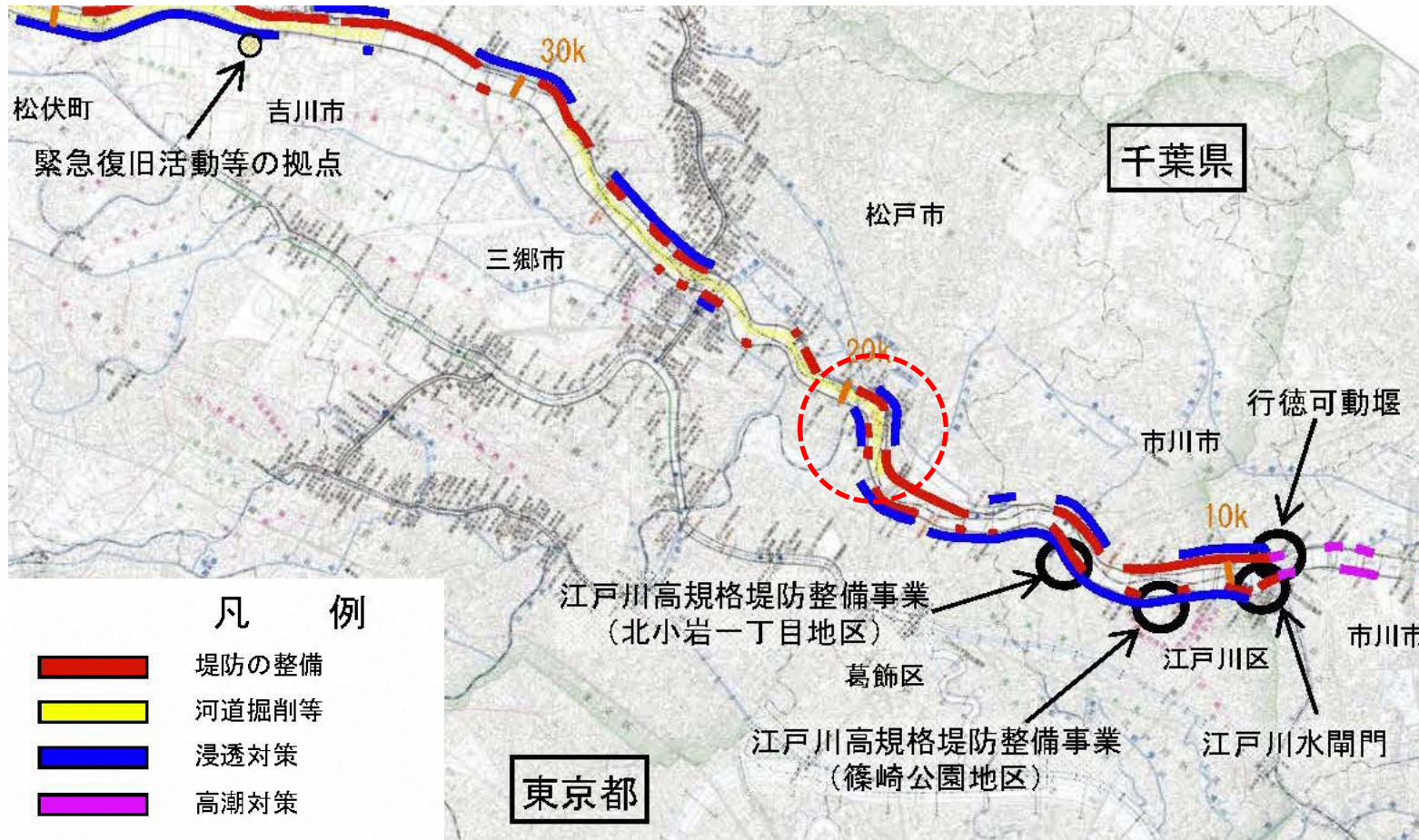
**旧宿場町としての街並みや文化を残す取り組みを行っている  
日本のデザインの発展を支えた地である**



① 松戸駅周辺の防災性向上への取り組み

浸水想定区域における取り組み

- ・松戸駅西側の浸水想定区域には、商業や居住用地として市街地が形成されており、江戸川河川整備計画において、堤防の整備・強化が位置づけられている。
- ・加えて、今後、水害発生時に対応できる避難体制の構築や市指定避難場所の十分な周知、避難計画の策定等災害リスク軽減に向けた施策展開により安全性を確保していく計画であり、この計画を受け、立地適正化計画の居住誘導区域に含まれている。



洪水対策等に関する施行の場所  
「利根川水系 利根川・江戸川河川整備計画」  
(平成29年変更国交省)



**水害対策の実施により安全性を確保する計画がある**